

8-4 近畿・北陸地方，日向灘沿岸の地殻変動連続観測結果 (2006年11月～2007年10月)

Continuous Observations of Crustal Deformations at Observation Networks in Central Kinki and Southeast Kyusyu District.

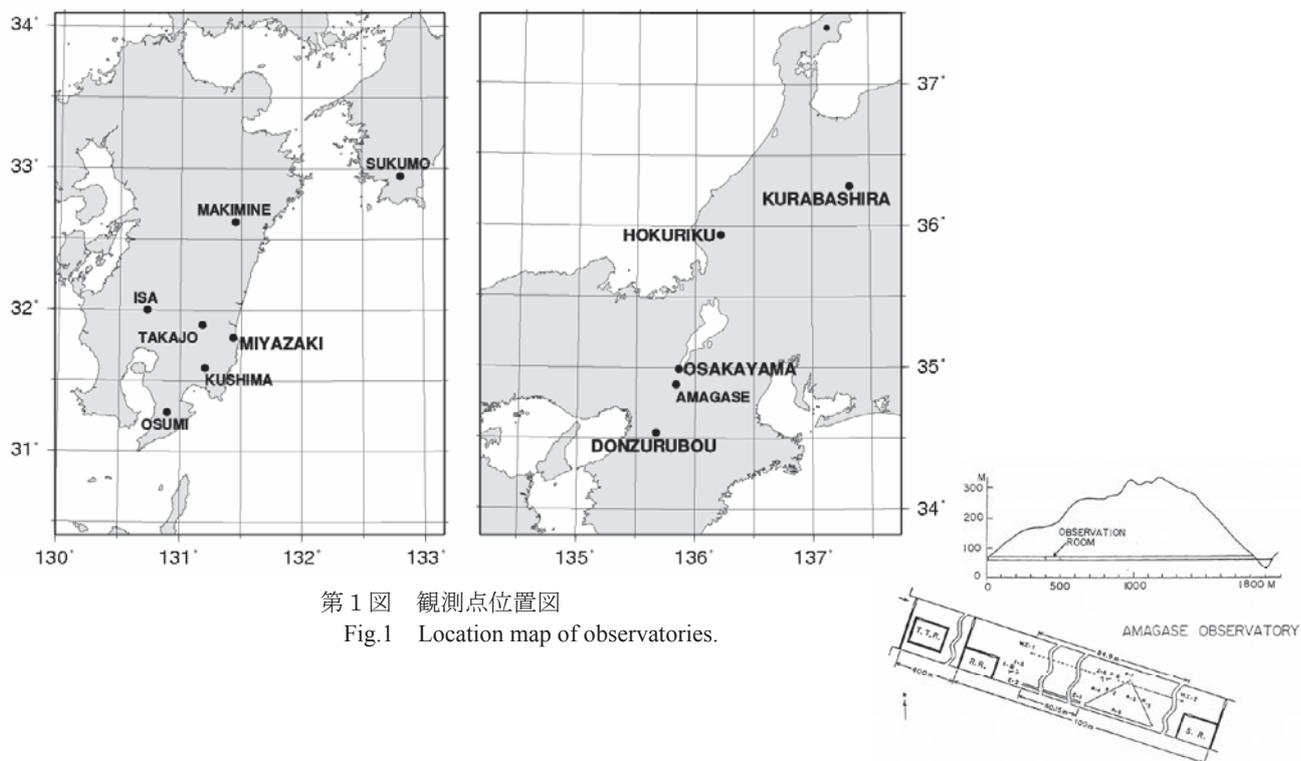
京都大学防災研究所地震予知研究センター
Research Center for Earthquake Prediction,
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

近畿・北陸地方および日向灘沿岸部にて観測された坑道内地殻変動連続観測結果の2006年11月から2007年10月まで最近1年の記録を示す。近畿地方北部で2003年初頭に生じた歪速度の変化は現在も継続中である。天ヶ瀬観測室の記録に見られる6月からのオフセットは観測坑道が水没した影響であり，水が引き10月に以前の水準に復帰した。逢坂山観測所の記録では，8月中旬から10月に掛けて比較的降雨量が多く，降雨量からの推定では地下水位が上昇するはずであるが，実測された地下水位は低下を続けている。

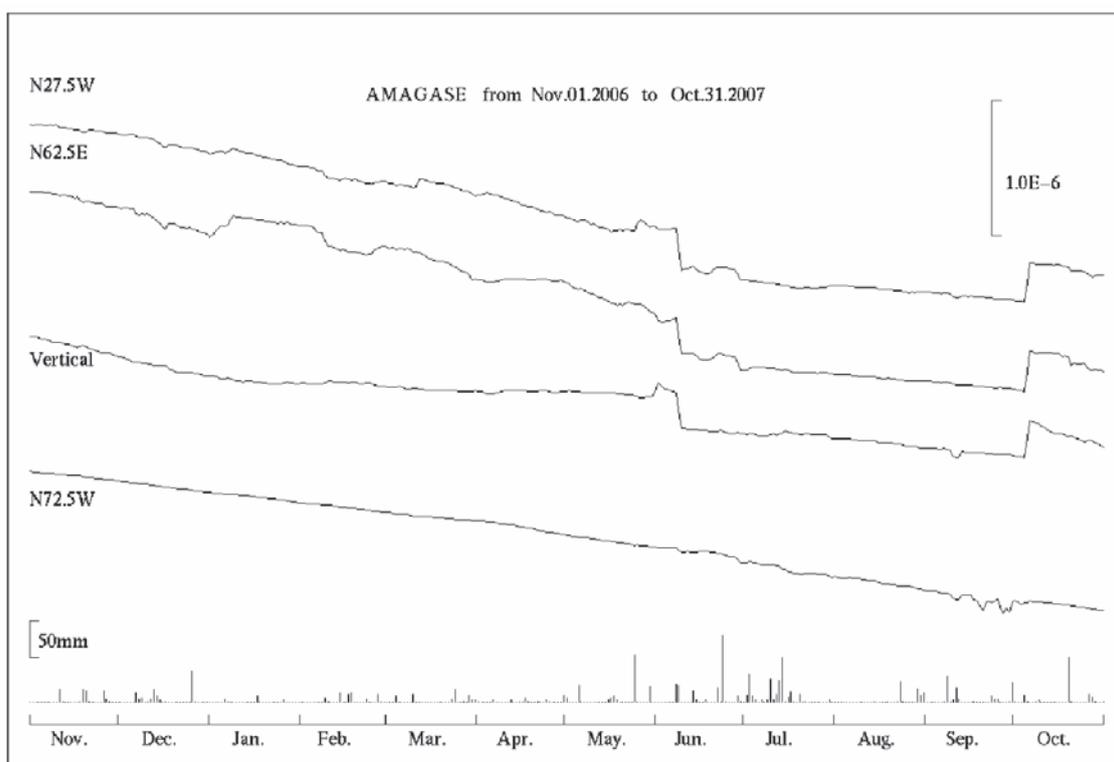
日向灘観測線の宮崎観測所では歪計2成分，E1・E2で歪レートがやや大きく現れている。降雨量との相関が良い垂直成分EVも多雨時期に見られる伸びの変動を示していることから降雨の影響と思われ，特に通常なら乾季である11月，12月の降雨が利いているようである。伊佐観測室のE3に9月から急激な縮みの変動が現れている。同じ基準尺の中間センサーにはこの急激な縮みは見らず他成分でも同時期に異常はなく原因が不明である。なお潮汐や地震時の短周期変動はE3とその基準尺の中間センサーとが同じ変化を記録している。また，傾斜計W1における3月頃からの一様な北西下がりとは前年と類似しているが，前年には9月頃に回復した。高城観測点では水管傾斜計(W)において温度の影響による季節変動が例年より減少した。水管，気泡式ともに坑道奥の方向(N63W)が下がる変動を示している。(森井 互・寺石真弘)

地殻活動総合観測線最近1年の観測結果

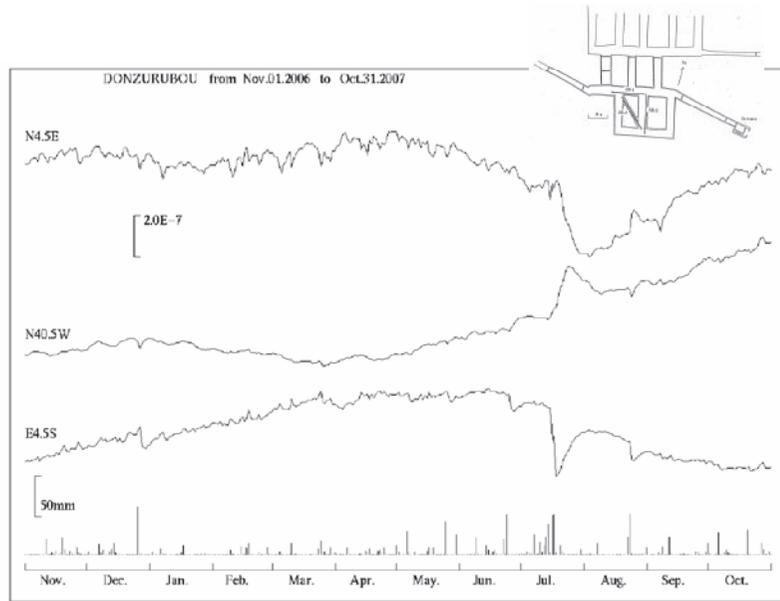
京都大学防災研究所地震予知研究センター



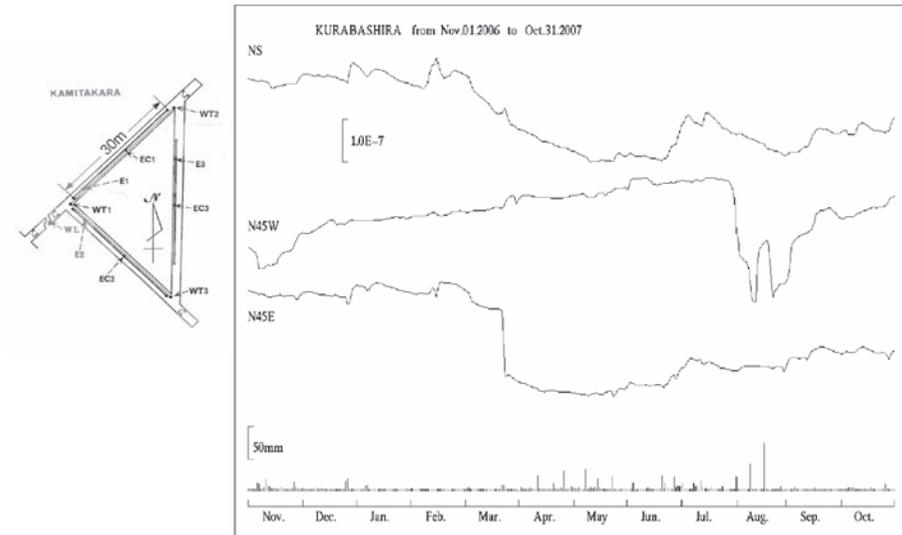
第1図 観測点位置図
Fig.1 Location map of observatories.



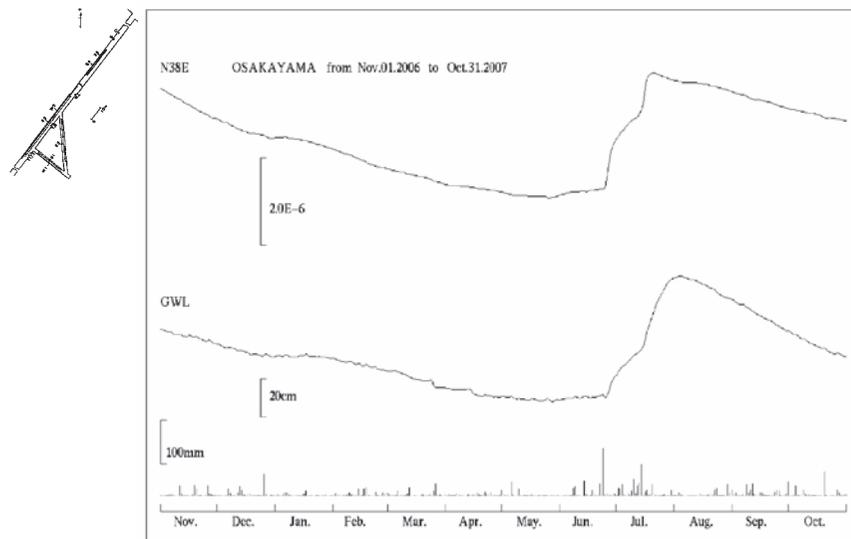
第2図 天ヶ瀬観測室における歪変化と日雨量 (2006年11月～2007年10月)
Fig.2 Strain changes and daily precipitation at Amagase observatory.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).



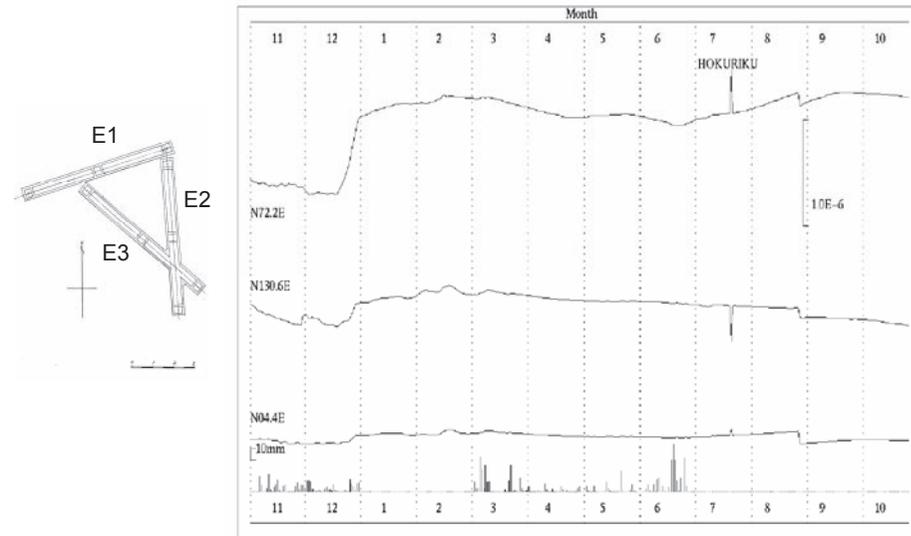
第3図 屯鶴峯観測所における歪変化と日雨量 (2006年11月～2007年10月)
Fig.3 Strain changes and daily precipitation at Donzurubou observatory.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).



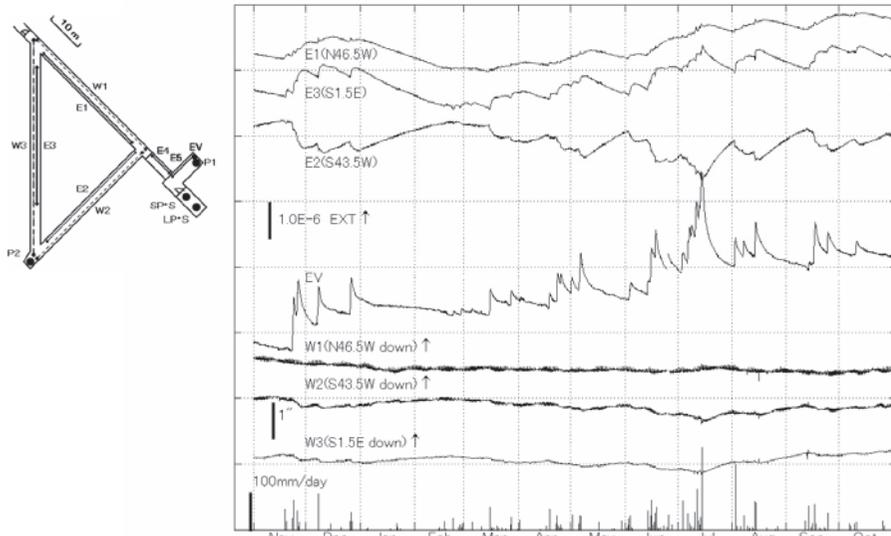
第5図 上宝観測所蔵柱観測室における歪変化と日雨量(2006年11月～2007年10月)
Fig.5 Strain changes and daily precipitation at Kurabashira observatory.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).



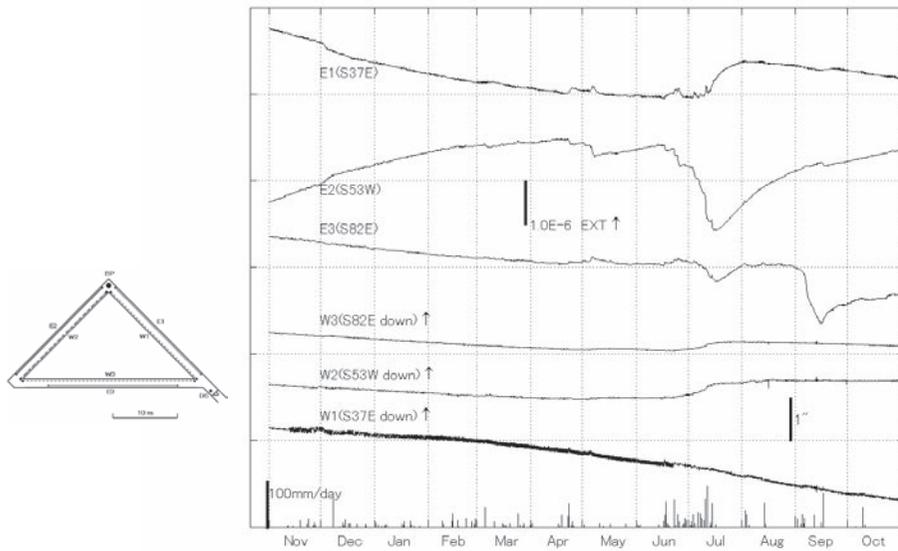
第4図 逢坂山観測所における歪変化, 地下水位と日雨量 (2006年11月～2007年10月)
Fig.4 Strain change, underground water level and daily precipitation at Osakayama observatory.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).



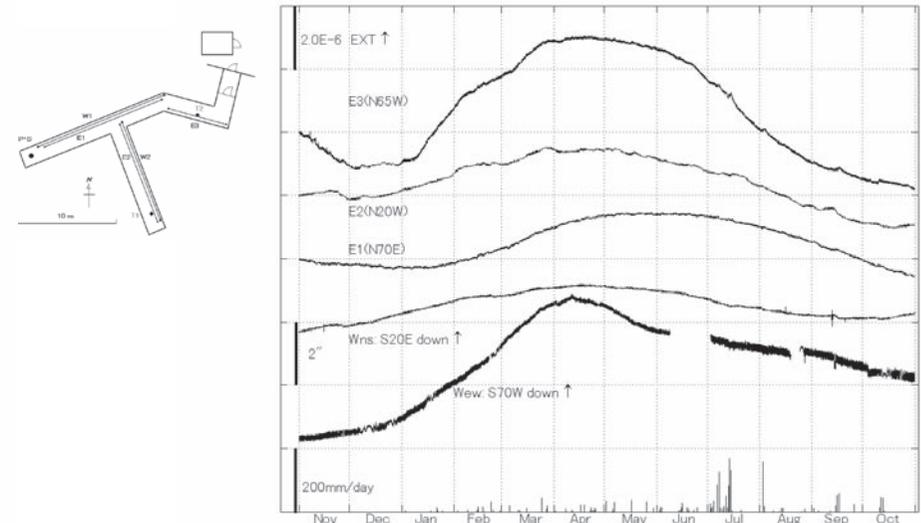
第6図 北陸観測所における歪変化と日雨量 (2006年11月～2007年10月)
Fig.6 Strain changes and daily precipitation at Hokuriku observatory.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).



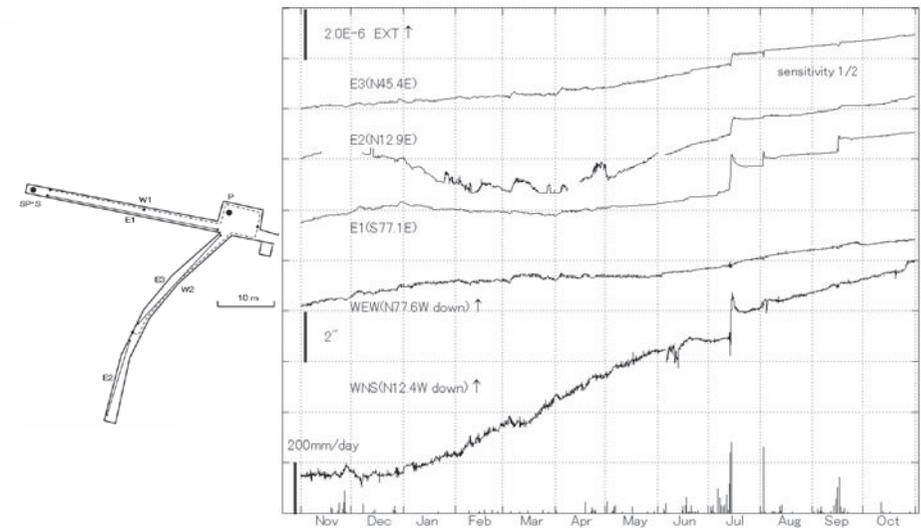
第7図 宮崎観測所における歪・傾斜変化と日雨量 (2006年11月～2007年10月)
 Fig.7 Strain changes, tilt changes and daily precipitation at Miyazaki observatory.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).



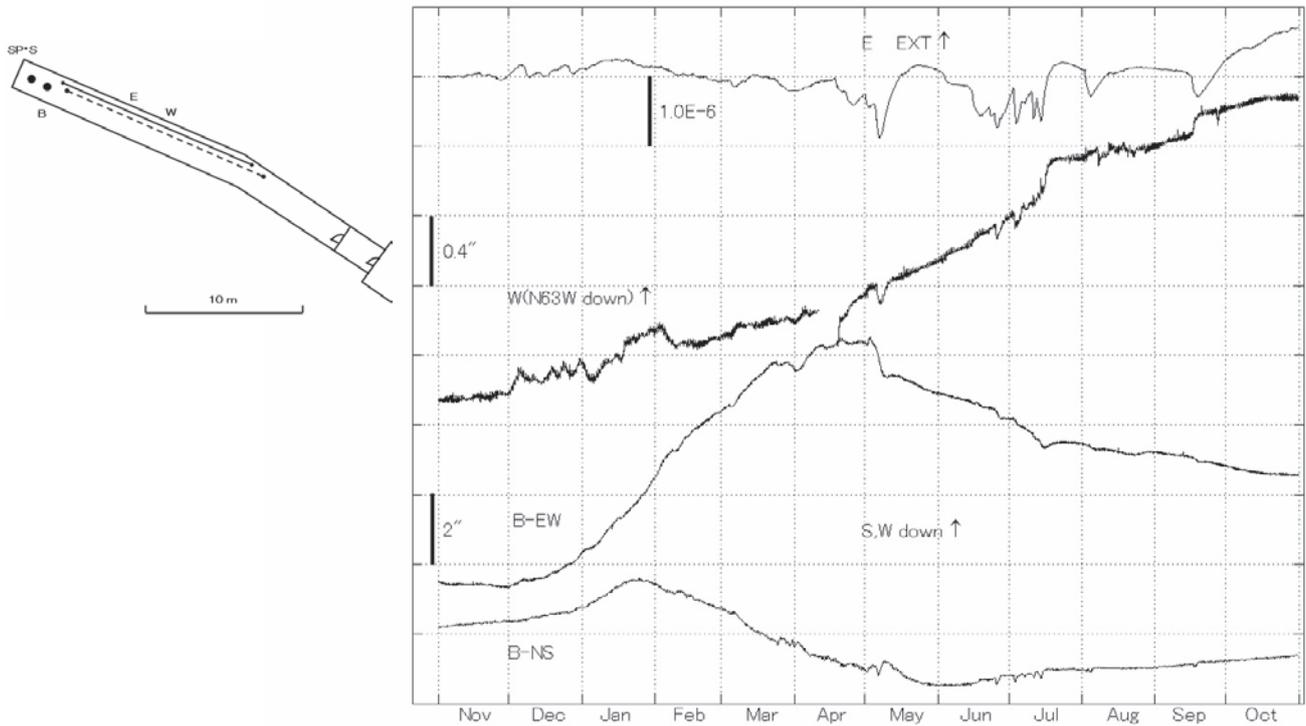
第8図 伊佐観測室における歪・傾斜変化と日雨量 (2006年11月～2007年10月)
 Fig.8 Strain changes, tilt changes and daily precipitation at Isa station.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).



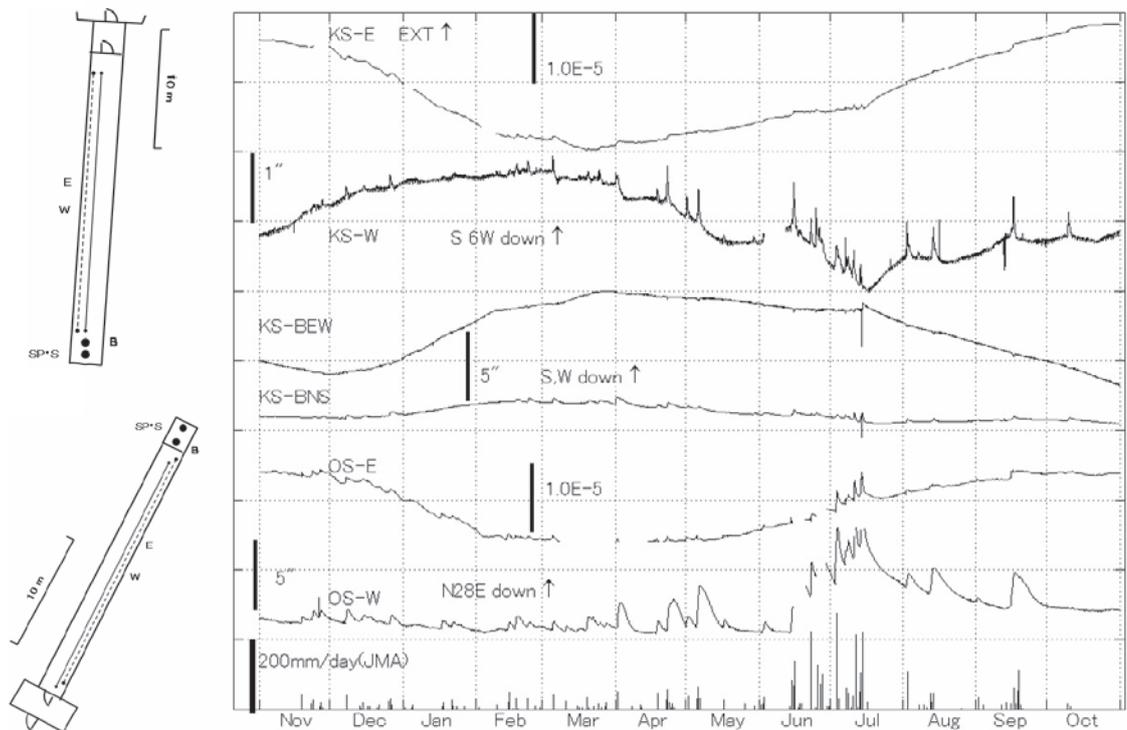
第9図 宿毛観測所における歪・傾斜変化と日雨量 (2006年11月～2007年10月)
 Fig.9 Strain changes, tilt changes and daily precipitation at Sukumo station.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).



第10図 横峰観測室における歪・傾斜変化と日雨量 (2006年11月～2007年10月)
 Fig.10 Strain changes, tilt changes and daily precipitation at Makimine station.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).



第 11 図 高城観測室における歪変化と傾斜変化 (2006 年 11 月～2007 年 10 月)
 Fig.11 Strain changes and tilt changes at Takajo station.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).



第 12 図 串間および大隈観測室における歪変化と傾斜変化. 日雨量はアメダス(鹿児島県田代)の値. (2006 年 11 月～2007 年 10 月)
 Fig.12 Strain changes and tilt changes at Kushima, and Ohsumi station. Daily precipitation at Tashiro in AMeDAS observation system is also plotted.(Nov. 1, 2006 ~ Oct. 31, 2007).